

2026年度「御同朋の社会をめざす運動（実践運動）」

事業計画

第1章 教区重点プロジェクト（第5期計画3年目）

2026年度は、第5期（2024～2027）実践目標の3年目にあたる。本年度は、これまで2年間の取り組みを整理し、実践状況の整理および事例共有の機会を設け、教区内での情報循環を図る。理念の深化と現場の実態を結びつけ、無理のない持続可能な推進体制の確立を目指す。

1. 〈貧困の克服に向けて～Dāna for World Peace～〉 — 子どもたちを育むために —

- ・スローガン「おいで、おいで、お寺においで！」
- ・2年間の活動を見直し、さらに必要な対応を進める。
- ・お寺で取り組む「子どもと一緒に過ごせる居場所（スペース）」づくり、本堂、庫裡、会館等の部屋の提供（寺院施設の開放）
- ・各組織の協力と実働

2. 立教開宗 800 年を契機に浄土真宗の未来を探る

実態の聞き取り調査による成功例の紹介並びに具体的な取り組みの集約

- ・法要法座の開催状況や開催方法の成功例の紹介
- ・仏事の形骸化への具体的な取り組みの集約

第2章 人権・差別問題への取り組み

- ・人権啓発推進研修会（同朋講座）の継続実施
- ・近畿同朋運動推進協議会との連携強化
- ・ハンセン病問題に関する現地研修・啓発継続

第3章 非戦・平和推進の取り組み

- ・戦後 80 年事業の継続的展開
- ・沖縄戦 DVD の活用促進および学習支援
- ・教区主催研修会の継続開催
- ・非戦・平和の意識醸成のための学習機会の確保

第4章 いのちの尊さの継承と災害対応体制の整備

(1) いのちに寄り添う取り組み

- ・1.17「いのち」を考える研修会の実施
- ・自死者追悼法要の安定的実施
- ・自死者追悼法要スタッフ養成研修会の継続開催と担い手の裾野拡大と体制強化

(2) 災害対応・安否確認体制の整備

- ・コミュニメール登録率向上への働きかけ
- ・安否確認体制の整備強化
- ・教務所備蓄品の計画的整備およびローリングストック管理

第5章 連研の推進（人材育成）

- ・組連研の全組開催を目指す
- ・門徒推進員養成体制の充実
- ・連研のための研究会の継続実施
- ・話し合い法座の意義の再確認と普及

第6章 子ども・若者ご縁づくり推進の取り組み

- ・交流企画・体験型事業の継続実施
- ・各組でのキッズサンガ開催促進
- ・教化団体との連携強化
- ・若年層との継続的接点形成

第7章 宗門関係学校との連携

宗門関係学校との連携を継続し、生徒・学生が仏法に触れる機会を確保する。

- ・神戸龍谷中学校・高等学校 朝礼法話の継続
- ・兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校 月例礼拝の継続
- ・学校現場との連携体制の維持・発展

第8章 地域課題への対応

- ・過疎地域寺院への支援体制の検討継続
- ・事例収集と情報共有
- ・実情に即した現実的施策の模索

第9章 文書伝道・情報発信

- ・教区ホームページの充実
- ・実践運動専用ページの更新
- ・教区新報とリーフレットの継続発行
- ・わかりやすい情報提供の工夫